

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] 自然公園等利用施設の整備事業 (201)
評価年月日] 平成12年11月14日
担当部課名] 環境部 自然環境課
記入課名・課長名・電話] 自然環境課・課長 木平悦生・2580

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：自然との共生の確保 (Ⅲ-1)

施策：良好な自然環境の活用 (3)

総合計画の目標項目：① 自然遊歩道の総延長

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：生涯学習の推進

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

- ① 労働時間の短縮、週休2日制の定着など余暇（自由時間）の増大により、自然とのふれあいなど目的意識がより鮮明になり、より手軽で健康的な余暇の過ごし方（自然志向、ウォーキングブーム等）が増加している。
- ② 都市化の進展による自然回帰志向や環境に対する県民の意識の高まりにより、自然とのふれあいに対する県民のニーズはますます高くなるものと予想される。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

何時でも、誰でも、自由に自然公園の中で豊かな自然やその中で育まれた歴史・文化とふれあえ、安全かつ快適に過ごせる利用施設を整備する。

たくさんの人が、自然と親しむことができ、心の安らぎを享受するとともに、自然保護意識を高揚させる。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には＊を付す)

自然ふれあい度（自然公園利用度）
利用入り込み人員

県 民 人 口

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

気軽に、快適に自然とふれあうことのできる自然公園利用施設の整備指標として、多数の県民（国民）が本県の豊かな自然とふれあえる機会を得ることを設定している。

自然公園の利用施設を整備することにより、自然ふれあいポイントへの入り込みが容易となり、指標は高くなるが、既往利用施設及び観光施設に対する利用者の志向、経済状況等により左右されることがある。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

自然公園等において、自然歩道や自然観察施設などの施設が整備され、豊かな自然に親しみふれあえる場が増えています。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

県有の自然公園施設等の維持管理及び近畿自然歩道の整備を重点とした自然公園施設等の整備を行った。

近畿自然歩道については、順調に整備が進捗し、東紀州体験フェスタとの連携が図れ、利用者が増大した。

②前年度に残った課題

施設整備は、自然公園であることから、より一層自然との共生が図られる施設整備に取り組む必要がある。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

近畿自然歩道の整備は、計画的に進捗しており、平成13年度の完成が見込まれる。

転落事故が多発した大杉谷登山歩道について、危険個所の整備が概成するなど、ハードの整備は進んだ。

②本年度残ると思われる課題

休憩所、トイレ、サイン等の施設整備について、利用者にやさしく、自然環境に適合したものに創意工夫する積極的な取り組みが必要と思われる。

5 基本事務事業の改革方向

施設整備については、従来から人間側の立場で整備を進めてきたが、自然環境の視点からも施設整備や利用を考える必要がある。

一方、誰もが自然とふれあえるバリアフリーの公園づくりにも取り組み、地域と連携した自然公園として利用者の拡大を図る必要がある。

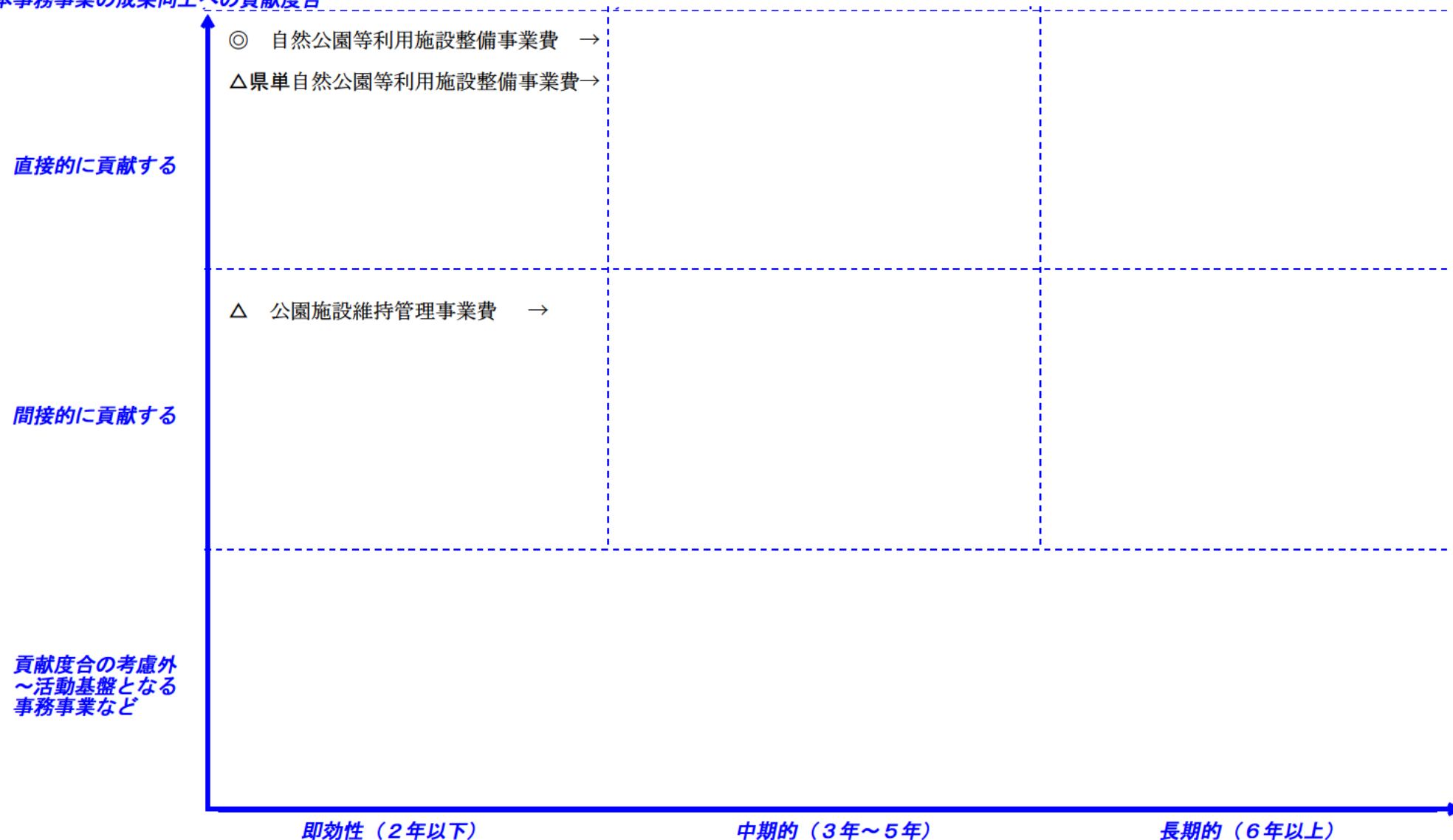
6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (千円)		必要概算 コスト(千円)
	目標	実績		所要時間 (時間)		
前々年度 (H10年度)	0.024	0.020	目標数値なし	616,155 9,800		657,119
前年度 (H11年度)	0.025		〃	677,505 10,100		719,420
本年度 (H12年度)	0.026		〃	417,816 10,500		461,811
本年度補正後 (H12年度)			〃	▲ 8,000 ▲ 200		▲ 8,838
翌年度 (H13年度)		――	〃	378,559 9,600		418,783
計画目標年次 (H22年度)	0.036	――	〃	――		――

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

※ 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]